

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29 年 8 月 30 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473300741		
法人名	医療法人 北原会		
事業所名	グループホーム 大野		
所在地	広島県廿日市市大野67番地1 (電話) 0829-56-3333		
自己評価作成日	平成29年8月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=3473300741-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成29年8月28日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

・山々に囲まれた自然豊かで静かな場所にあります。 ・鳥のさえずりや四季折々の草花を楽しむことができます。 ・経営母体が病院なので、緊急時の対応が迅速に行ってもらえます。 ・利用者を始めご家族の方々にも安心して頂けるよう、日々取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

この事業所は、体調に不安を抱える利用者が多く、常勤の看護師を配置し安心して過ごせるように配慮している。毎日、利用者の体調をチェックし、体調に異変がある際には、迅速に医師に連絡を取り、対応している。予め作成された献立により食材が搬入されているが、利用者の状況を配慮し、利用者の立場に立った食事を提供するようにしている。秋には利用者全員が参加して「つるし柿」作りを行っている。管理者は職員の相談に応じ安心して働ける環境整備を行い、職員が楽しく働いている様に見受けられる。
--

自己評価	外部評価	項 目（ 1ユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝の朝礼時、全員で唱和し共有しています。	事業所の理念は、玄関に掲示されていて、利用者家族も見ることが出来る。毎朝の朝礼時に理念を唱和している。なお、理念の具体化は、まだ未完成で現在検討中である。	現在、理念の具体化が検討されているが、具体化に関しては、管理者だけでなく職員も一緒になって話し合い、検討することを期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	利用者の方によっては、見慣れない人がいると不安になる方も居られるので、積極的には行っていません。	事業所理念に「地域に愛され信頼されるホーム」を掲げているが、積極的に地域と交流する機会が少なく、現在検討中である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域貢献はなかなか出来ていません。面会時・利用入居相談時、個別に認知症への対応などの話しをしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では、サービスの状況や問題点・疑問点を定義し、意見交換をしています。スタッフへは、後日会議の議事録を回覧し情報を共有しています。	運営推進会議は、毎回、家族1名・市職員・包括支援センターが参加し、時々地域住民代表も参加し開催されている。出席者の意見により、事業所の周りを歩いたり、隣接する病院中庭へ行くなど外出の機会を多く設けるようにした。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	疑問があれば運営推進会議時に市職員へ教えてもらったりしています。また、パンフレットの補充も兼ね定期的に市役所へも訪問し、状況報告を行っています。	運営推進会議に市職員・包括支援センター職員が参加しており、その際に介護に関する質問・相談を行っている。包括支援センターが主催する「地域ケア会議」に管理者が出席し意見交換をしている。	

自己 評価	外部 評価	項 目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	施設が交通量の多い道路に面しています。 出入口には鍵を設け、危険防止に努めています。 利用者の中には、鍵がある事で安心される方もいます。	事業所前に交通量の多い道路があり、利用者の安全を考慮し、また家族も了解の下に玄関を施錠している。身体拘束に関しては、母体法人の研修や外部研修に職員が参加し学んでいる。また、管理者・看護師は身体拘束しないケアについて職員に説明し、取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	併設の医療機関にて、高齢者虐待の研修に参加したり、新聞記事など関係のある情報を閲覧したりしてスタッフ間でも意識を高めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要があれば、相談に応じています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約・解約・規約の改正等があれば、必ず書面を作成し、ご家族へ説明・確認を行っています。 また、疑問・質問があれば納得の行くまで丁寧にお答えしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時、希望・要望を聞いています。随時、対応し相談記録ノートに記入しています。 ノートは共有できるようにしています。また、目安箱を設置して直接相談しにくい方へも配慮をしています。	家族の来訪時には、話をする機会を設け家族の意見・要望を聞いている。家族の要望や苦情には迅速に対応し、家族要望から電気釜で「お粥」を作るようにし、現在に至っている。	

自己評価	外部評価	項 目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	朝礼後などに話し合う場を設けています。 その際には、スタッフからも積極的に意見を出してもらい、改善に向け取り組んでいます。	管理者は、朝礼後や昼休みに職員と話す時間を設け、職員の意見に耳を傾け相談に応じている。職員の意見により、朝早い時間はトイレ介助などの業務が多く、「早出」職員を配置し業務を分担して利用者が転倒しないよう見守るようにした。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員ひとり一人、勤務体制・契約条件が異なる為、それぞれに応じた職場環境を整えています。 また、個々にあった研修を勧めたりし、向上心をもって仕事に取り組めるように努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	スタッフへは、自己評価を実施しています。 それを踏まえ、個々のケアに対する力量や態度を評価・把握しています。 研修等は、仕事をしながらでも学べるように取り組んでいます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	同業者との交流は出来ていません。 外部での研修・勉強会へ参加した際を利用し、情報交換を行っています。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ホームでの生活を始めるにあたり、しっかり本人の思い・家族の要望を聴き、出来るだけ早く信頼関係が築けるように努めています。		

自己 評価	外部 評価	項 目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居相談時から家族の話をしっかり聴き、不安・困っている事を把握し、入居後もサポート出来るよう信頼関係作りを心掛けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居前には、必ず面接を行っています。本人にどのような支援が必要か、家族・他職種の方の意見も聴きながら連携を取り、対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者同士で話しをしながら軽作業をしてもらったり、職員と一緒に折り紙をしたりする事もあります。その中で、昔話に花が咲く事もあります。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	本人との関わりを大切にし、家族の想いも尊重しながらしっかり寄り添い、支えていけるよう心掛けています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	電話を掛けたり、手紙を書いたり出来ます。また、面会時は自室でゆっくり過ごして頂ける様な雰囲気作りをしています。	今まで利用していた理美容院に家族と一緒にいき、馴染みの関係を継続している。家族へ手紙を出す利用者には、職員が切手を貼り投函している。	

自己評価	外部評価	項 目 (1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の () 内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	孤立しないように気を配っています。利用者同士で話しをしている際、必要に応じて間に入り会話をサポートしています。個々の性格にあった支援を心掛けています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後は、特に連絡はしていません。しかし、時々立ち寄ってくれるご家族もおられます。その際には、近況を教えてもらったり困った事があれば相談に乗っています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の中には、スタッフに直接頼み事をされる方もおられます。しかし、中には言い出しにくい方もおられるので、会話の中から想いを引き出したりと工夫をしています。	日常会話から利用者の「思い」や「意向」を把握し、管理者に報告し、申送り時に情報を職員間で共有している。買い物や外出希望については、出来るだけ早く対応し、またケアプランに取り入れて利用者の「思い」を実現することもある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	昔の話など、話しの内容を細かく記録に残し、その方の生い立ちや育ってきた環境を理解し、支援に活かせるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一日の生活リズムは個々で違うので、きちんと記録を残しスタッフ全員で把握できるようにしています。		

自己 評価	外部 評価	項 目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ケアプランは、6ヶ月ごとに見直しをしています。 また、身体状況など変化がありプランに記載した支援が出来なくなった場合には、速やかにカンファレンスを行いプランの見直しを行っています。	利用者毎に担当者を決め、担当者がモニタリングを行い看護師の意見を参考にし、最終的に計画作成者がモニタリングを作成している。その後、ケアカンファレンスに担当者も参加し、医師・家族の意見を反映してケアプランの見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日常の様子は、個別に記録を行っています。 スタッフ間でも情報が共有できるようになっています。 また、その情報をプランに活かせるようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	状態急変時は、直ちにカンファレンスを開き、問題点を検討しています。 状況にあった支援が常に出るよう気を配っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	個々の持っている力を生かせ、ホームでの生活を楽しんでもらえるような支援を心掛けています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	協力医療機関より、定期的に訪問診療を受けています。 個々の状態を確認し本人又は家族と相談しながら、適切な治療が受けられるよう気を配っています。	利用者は、事業所の協力医をかかりつけ医としているが、入居の際に、事業所の話を聞き了解している。また整形外科や眼科などへは今までのかかりつけ医を受診している。	

自己評価	外部評価	項 目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎日の状態を細かく報告し、連携を図っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には、看護情報提供書又は介護情報提供書を作成し、病院関係者と情報を共有しています。また、不明な点があればいつでも連絡が取れるような体勢を整えています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時、本人・家族・主治医で話し合いの場を設けています。また、状態に変化があった場合にも、必要な時に話し合いを持つ事が出来るよう体制を整えています。	入居時に、重度化した際の要望を聞いている。重度化した際には、再度、家族の要望を確認し医師の判断により医療機関で対応するようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	事故発生時の初期対応の訓練について、すべての職員へは行っていません。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	運営推進会議時、地域住民の代表の方・市職員の方・協力医療機関の方と、災害時の連携について話し合っています。また、定期的に避難訓練を行い、消防署との連携も確認を行っています。	年2回、消防署立ち会いの下に隣接病院を含む法人全体で避難訓練（うち1回は夜間を想定した）を行っている。その際には、利用者も参加し、実際に利用者を乗せた車いすを階段を使って運ぶ訓練も実施している。災害時には、隣接する病院職員が協力する体制が整っている。	

自己 評価	外部 評価	項 目（ 1ユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個々の尊厳・プライバシーを大切に し、対応しています。	「人格尊重」「プライバシー」「個人情報」に関する法人研修や外部研修に参加し学んでいる。「個人情報を漏らさない」「馴れ馴れしい言葉使いをしない」などについて、管理者が指導し職員と取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活のなかで、自己決定が出来るように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々の生活ペースに合わせた支援を心掛けています。 また、生活習慣を把握し、スムーズに行動できるような支援に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	家族と出掛けたり、訪問理容を使ったりしています。 また、スタッフにその日の服を見てもらい、意見を聞いて選ぶ方もおられます。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	個々の嗜好に出来るだけ添うようにしています。 味付けや形態を工夫し、自分のペースで食べて頂けるように気を配っています。	予め作成された献立に沿った食材が搬入され、職員が調理しているが、利用者の状況により献立を変更するなど利用者の立場に立って食事を提供している。季節行事食は、「ちらし寿司」「いなり寿司」など利用者の要望を反映し、時には、「ぜんざい」などの手作りおやつを提供している。	

自己評価	外部評価	項 目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量は毎日記録に残しています。一日の必要摂取カロリーは確認できるようにしています。 気になる事があれば、管理栄養士に相談したり、水分摂取も気を付けて確認しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、声かけを行い歯磨きを行っています。 また、夕食後には義歯を預かり入れ歯洗浄剤を使い、消毒をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	トイレ誘導表を作成し、スタッフで共有し時間を見て声かけ・誘導を行っています。 夜間は、ポータブルトイレを使う方・トイレへ行かれる方等、個々で安心して排泄が出来るよう気を配っています。	利用者の排泄パターンを把握しチェック表を参考にトイレ誘導している。なるべくオムツを着用しない取り組みを実施し、昼間は下着やリハビリパンツを着用し、夜間2名がオムツを使用している。転倒に配慮し、夜間だけポータブルトイレを利用する利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事や軽度の運動を取り入れ、出来る限り予防に努めています。 時には主治医・看護師に相談し助言を求めながら、便秘にならないように工夫をしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	隔日に入浴しています。 しかし、夏場は希望に応じて毎日入浴する事もできます。	週に2～3回入浴するようにし、入浴できない場合は清拭・陰部洗浄を必ず行っている。利用者の要望に沿った入浴をしており、長い時間湯船につかる人や、夏場に毎日入浴を希望する方にも応じている。	

自己 評価	外部 評価	項 目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	昼寝を取り入れたりしています。 (30～60分程度) 夜間、不眠を訴える方は、主治 医に相談して対応しています。安 心して休んで頂けるよう支援し ています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	個々の服薬管理表を作成してい ます。カンファレンス・ミーティ ングにて、主治医・看護師・薬 剤師より薬の説明を受け、情報 を共有しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	干し柿作りをしたり、季節の行 事を取り入れ気分転換を図って います。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。	高齢化もあり、積極的な外出は 行いません。家族から要望があ れば、体調を管理をしっかりと 行い楽しく外出できるように 気を付けています。	天候の良い日には、なるべく外 出するようにしている。外出が 困難な利用者は、事業所の周 りを歩いたり、隣接する病院の 中庭へ桜や紅葉などを見物に出 かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひと りの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援し ている。	金銭管理が出来る方は持ってお られます。また、家族の強い希 望で持たれていない方も多くお られます。		

自己 評価	外部 評価	項 目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話を掛ける際は、スタッフに声を掛けてもらっています。必要であれば、電話口まで案内をし、使ってもらっています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	寄贈して頂いた絵画を飾ったり、折り紙の作品を飾ったりして、明るく心地よい空間作りを心掛けています。	毎日、掃除担当者を決めて施設内の掃除を行い清潔に保つように取り組んでいる。季節の花を玄関に飾り、庭には季節の花が咲いていて、リビングから楽しむことが出来る。ひな人形などを飾り、利用者に季節を感じてもらっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ホールのテーブルを大き目の物にし、家族と共にゆったり過ごせるようになっています。利用者の中には、新聞を広げて読んだりと思い思いの時間を過ごしておられます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染みの家具を持ち込んだり、家族写真を飾ったりして、思い思いの空間を作っています。	今まで使用していた家具を持ち込んだり、ぬいぐるみと一緒に寝たりとそれぞれ居心地よく過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ホーム内、とても広々としています。廊下・トイレ・ホールへ手摺りも付いており、安心・安全に移動できるような環境作りをしています。		

V アウトカム項目(1ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム大野

作成日 平成29年9月27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の具体化	理念に基づいて一年間の目標を立て、介護に活かす。	毎月一回、ミーティング時に理念に沿った行動が出来ているか振り返りをし、業務に活かしていく。	H29年9月～ H30年8月末
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。